

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と正社員を、めざせ、均等待遇、なくその差別！ ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

年末始繁忙交渉報告

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙 「みらい」
NO. 3709
16年11月29日(火)
・Fax 095-828-1953

おはようございます。

先週末の強烈な冷え込みが一旦収まり、一息ついたところですが、インフルエンザとマイコプラズマ肺炎が、流行しているとの事です。体調管理を心がけましょう。

さて職場では「年末年始業務運行」の業研が行われています。昨年までは、全体業研として時間を取り行われていましたが、今回は各部まちまちです。物増の日が続く中、出発前の気が焦っている時に行われても中々頭に入りません。次からは、時間と環境を確保して行なうてほしいです。

そこで、先日支部に説明があったものとあわせ、今年繁忙の特徴と課題をお知らせします。

最大の変更点

休配日が増加
今年は10数年ぶりに1月2日が休配日となりまし

た。また合わせて12月25日も休配です。報道によれば1月2日の休配だけで人件費をはじめとして、約10億円の経費削減となるとの事です。

私達社員にとっても、1月25日と1月2日が休配になることにより、連続出勤日数が短くなります。また非番・週休日の買い上げも減ることが予想されます。少しは人間らしい年末始となるかもしれません。

他の特徴点

まず、年賀郵便とゆうパックの予想物数ですが、年賀郵便は対前年比で、引受けがマイナス2.2%、到着・配達がマイナス2.1%。ゆうパックでは引受けがマイナス0.5%、到着・配達がマイナス0.6%と想定されています。

引き受けと到着のピークのピークは年賀状が25日と27日。ゆうパックでは9日と14日となっています。

ただ今年には15日のゆうパック配達ピーク時に、昨年のピーク時(11日)実績に比べ、10%以上多いゆうパックを取り扱う(九州支社管内)と予想されています。長中局では毎月、15日は「ふるさと会」や

I社のクイック便が到着・配達にかかる多忙日でもあります。

例年ピーク時には、受託者から集配営業部への救援コールがかかりますが、今年には昨年以上の配達困難が予想されます。当日は、小包・混合区の増配置はもとより、受託者受け持ち地域の

一部をあらかじめ集配営業部へ移行させ、社員で配達する体制をとる必要があると思われま。夕方になって、大量の未配達ゆうパックの処理に、通配担当者が残業で応援するなど混乱することのないように、余裕を持った人員配置を要請します。

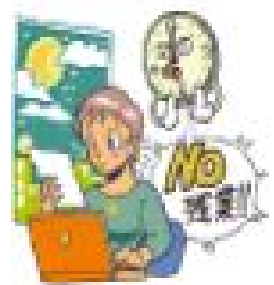


労働力計画

労働力計画とは、超勤計画と非正規社員雇用計画のことです。

非正規社員の雇用については昨年とほぼ同数第三集配営業部では社員の病欠欠務のため増配置もありとなっています。超勤計画については決定していません。事でしたが、組合からは超勤を無理に抑制させるのではなく、安全第一の無理のない業務運行を確保できる

ようにすること、と申し入れていきます。



懸案事項

12月25日と1月2日の休配はうれしいことですが、当日はもとより24日も含めた休配日翌日の配達を心配しています。

支部との交渉時には、24日・26日には、最大限人員配置を行いスムーズな業務運行に務めるとの説明を受けました。組合は、24・26日もだが、休配日にも増配置を行い書留だけでなく追跡ゆうメールなども全て、(当日)配達が出来る体制をとること、と要請しています。

化」となっています。

私達には「ゆうパックは増加したが人件費を切り詰めた結果、三誤事故や交通事故労災が悪化した」ととれます。今年繁忙では人件費削減より、安全第一で三誤や交通事故のない無理のない業務運行に取り組むことと要請します。



17春闘要求アンケートのとりくみについて

現在ユニオンでは、17春闘における賃金引上げを求めて「17春闘アンケート」を取組んでいます。

17春闘アンケートは、私たちの生活実態に基づいた賃金引上げ要求の基礎となり、労働者の切実な声を会社との交渉で反映するためにも重要となります。

このアンケートを活用して多くの職場労働者の声を聞き、要求を組織化していきます。

取り組み期間は今月末までです。職場の皆さんにも協力を頂いています。再度お声をおかけするかもしれませんが、協力をお願い致します。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちよ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。